

SHOWA MODERN, An Introduction to Umeki Itaya

特別展
板谷梅樹の世界

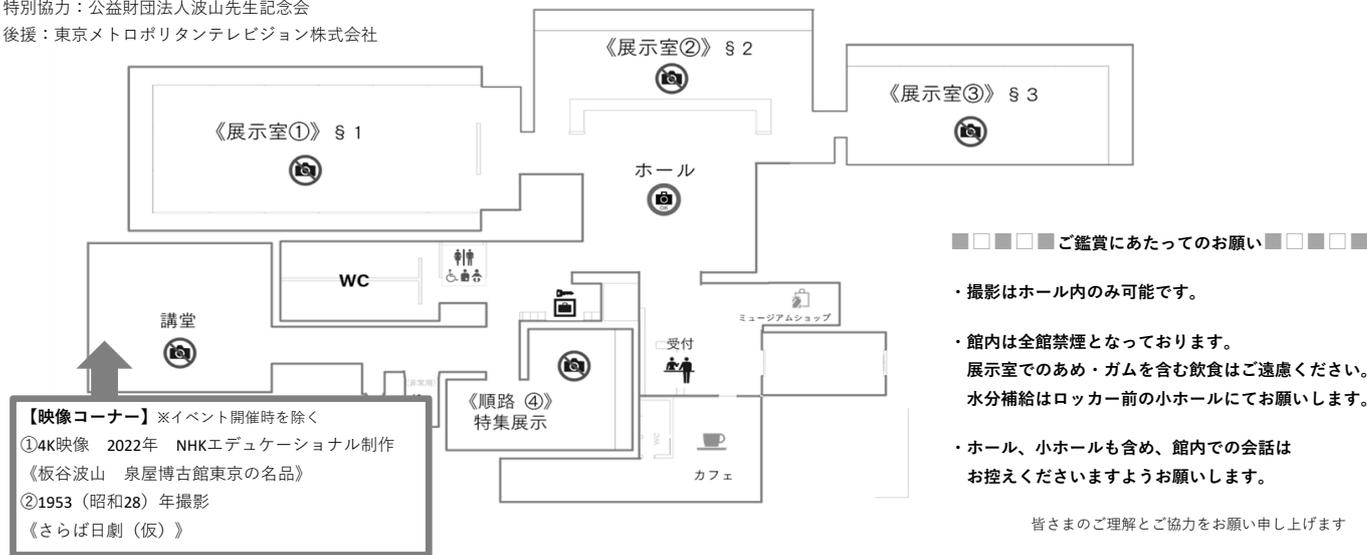
昭和モダン
モザイクのいろいろ

2024.8.31 sat ... 9.29 sun

出品目録

- ※出品作品は都合により予告なく変更することがあります。
- ※キャプションに掲載されている番号は展覧会図録の作品No.となります。
- ※作品名はご所蔵先の名称に拠るものです。
- ※リストの並びは展示の順序と異なる場合があります。
- ※作品名は箱書を基準に器形を記し、一部の作品は模様から名称を作成しました。
- ※制作年は帝展・日展出品などを基準に年代を推定しました。
- ※技法のスタンドグラスはガラス、モザイクは主にタイルなどの陶片が素材です。

主催：公益財団法人泉屋博古館、板谷波山記念館、毎日新聞社
特別協力：公益財団法人波山先生記念会
後援：東京メトロポリタンテレビジョン株式会社



図録No.	作品名	作者名	制作年代	所蔵
《ホール》				
6	三井用水取入所風景	板谷梅樹	昭和29(1954)年	板谷波山記念館
《展示室1》 第1章 モザイクの世界で				
参考1	日劇壁画下絵(「天」、「地」、「動物と植物」)	川島理一郎	昭和8(1933)年頃	栃木県立美術館
参考2	煙草箱	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
参考3	飾皿	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
1	笛を吹く人	板谷梅樹	昭和初期	個人蔵
2	花を持つ人	板谷梅樹	昭和初期	個人蔵
3	うさぎ	板谷梅樹	昭和13(1938)年頃	①長谷川コレクション
4	魚	板谷梅樹	昭和13(1938)年頃	①長谷川コレクション
5	鳥	板谷梅樹	昭和13(1938)年頃	①長谷川コレクション
8	壺	板谷梅樹	昭和30年代	個人蔵
参考4	花	板谷梅樹	昭和20-30年代	個人蔵
参考6	机	板谷梅樹	昭和20-30年代	個人蔵
7	鳥	板谷梅樹	昭和34(1959)年	個人蔵
9	花	板谷梅樹	昭和30年代	個人蔵
10	花	板谷梅樹	昭和30年代	個人蔵
11	紫陽花	板谷梅樹	昭和30年代	個人蔵
12	バラ	板谷梅樹	昭和30年代	個人蔵
29	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
13	きりん	板谷梅樹	昭和30年代	個人蔵

図録No.	作品名	作者名	制作年代	所蔵
28	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
30	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
31	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
18	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
14	飾篋	板谷梅樹	昭和11（1936）年	板谷波山記念館
15	飾箱	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
17	飾篋	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
16	飾篋	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
22	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
27	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
23	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
21	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
20	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
26	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
25	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
24	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
19	飾皿	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
参考5	道具類			個人蔵
	ガラス片・陶片			板谷波山記念館

≪展示室2≫ 第II章 日常にいろどりを

参考出品	ステンドグラス	小川三知	昭和3（1928）年頃	個人蔵
32	花	板谷梅樹	昭和3（1928）年頃	個人蔵
36	蓑箱	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
44	灰皿	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
35	蓑箱	板谷梅樹	昭和13（1938）年頃	㊦長谷川コレクション
40	灰皿	板谷梅樹	昭和13（1938）年頃	㊦長谷川コレクション
41	灰皿	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
43	灰皿	板谷梅樹	昭和10年代	板谷波山記念館
42	灰皿	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
37	煙草篋	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
38	蓑箱	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
39	煙草篋	板谷梅樹	昭和10年代	個人蔵
45	香盆	板谷梅樹	昭和32（1957）年	個人蔵
46	ペーパーナイフ	板谷梅樹	昭和20年代	板谷波山記念館
74	ベルト	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
72	バックル	板谷梅樹	昭和20年代	板谷波山記念館
73	バックル	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
71	カフスポタン	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
70	カフスポタン	板谷梅樹	昭和20年代	板谷波山記念館
47	ネックレス	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
48	ネックレス	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
49	ネックレス	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
50	ネックレス	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵

図録No.	作品名	作者名	制作年代	所蔵
51	ネックレス	板谷梅樹	昭和20年代	板谷波山記念館
参考7	ネックレス	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
52	ペンダントヘッド	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
53	ペンダントヘッド	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
参考8	ペンダントヘッド	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
54	ペンダントヘッド	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
69	ブローチ	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
68	ブローチ	板谷梅樹	昭和20年代	板谷波山記念館
参考9	ブローチ	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
67	ブローチ	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
65	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
61	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	板谷波山記念館
63	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	板谷波山記念館
64	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
62	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
66	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
参考10	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
59	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
60	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
55	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
58	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
57	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
56	帯留	板谷梅樹	昭和20年代	個人蔵
33	ランプシェード	板谷梅樹	昭和10年代	板谷波山記念館
34	ランプシェード（台座：板谷波山）	板谷梅樹	昭和10年代	㊦長谷川コレクション

◀展示室3▶ 第三章 住友コレクションと板谷家

特別1	彩磁更紗花鳥文花瓶	板谷波山	大正8（1919）年頃	泉屋博古館東京
特別2	重要文化財 葆光彩磁珍果文花瓶	板谷波山	大正6（1917）年	泉屋博古館東京
特別3	瑞獸香炉	板谷波山	大正5（1916）年	泉屋博古館東京
特別4	葆光彩磁双魚文皿	板谷波山	大正5（1916）年頃	泉屋博古館東京
特別5	八つ手葉花瓶	板谷波山	大正8（1919）年	泉屋博古館東京
特別6	茶釉花下対禽形彫文花瓶	板谷波山	大正3（1914）年	泉屋博古館東京
特別7	葆光彩磁葡萄唐草文花瓶	板谷波山	大正4（1915）年頃	泉屋博古館東京
特別8	仙桃園	板谷波山	昭和10年代	板谷波山記念館
特別9	椿図	板谷まる（玉蘭）	昭和24（1949）年	板谷波山記念館
特別10	彩磁山葡萄小禽模様花瓶	板谷まる（玉蘭）	明治末期～大正前期	泉屋博古館東京
特別11	彩磁小禽模様花瓶	板谷菊男	大正前期	泉屋博古館東京
特別12	葆光彩磁唐草文細口花瓶	板谷波山	大正5（1916）年	泉屋博古館東京
特別13	梅香合	板谷波山	昭和9（1934）年頃	板谷波山記念館
特別14	茶杓	板谷波山	昭和20（1945）年	板谷波山記念館
特別15	青磁蓮華文水差	板谷波山	大正時代前期	板谷波山記念館
特別16	天目（窯変）	板谷波山	昭和時代前期	板谷波山記念館
特別17	天目（白磁）	板谷波山	昭和時代前期	板谷波山記念館

図録No.	作品名	作者名	制作年代	所蔵
◀展示室4▶ 特集展示 住友コレクションの茶道具				
特別18	小井戸茶碗 銘 六地蔵		朝鮮時代・16世紀	泉屋博古館東京
特別19	祥瑞共蓋水指		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
特別20	黄天目 銘 鷺		元時代・14世紀	泉屋博古館東京
特別21	茶杓 銘 和気自春	住友春翠	大正11(1922)年	泉屋博古館東京
特別22	唐物写十九種茶入	野々村仁清	江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京

【次回展のお知らせ】

特別展 オタケ・インパクト

越堂・竹坡・国観、尾竹三兄弟の日本画アナキズム

東京初、大回顧展。美術史から零れ落ちた、規格外の日本画

新潟県に生まれた尾竹越堂（おたけ・えつどう1868～1931）、竹坡（ちくは1878～1936）、国観（こっかん1880～1945）の三兄弟は、明治から昭和にかけて文部省美術展覧会をはじめとした様々な展覧会で成功を収め、まさに「展覧会の申し子」として活躍しました。

しかしながら、竹坡は筆頭に実験的ともいえるラディカルな表現を試み、また時にエキセントリックな生き方を貫いた尾竹三兄弟は毀誉褒貶にさらされ、美術史の語りから零れ落ちていきました。展覧会制度の光と影のなかで、新しい日本画の可能性を示した彼らの革新的かつ魅力に溢れる作品は、きっと今の私たちの眼にも新鮮に映るはずで

本展は、東京で尾竹三兄弟を紹介する初めての展覧会です。彼らの重要作をはじめ、多数の新出作品や未公開資料から、知られざる尾竹三兄弟の人と作品を紹介します。

そして展覧会制度のなかで躍動した三兄弟の作品を一堂に会すことで、日本画の豊かな展開と展覧会芸術の到達点をご覧ください。



会 期 2024年10月19日（土）～12月15日（日）
前期：10/19（土）～11/17（日）後期：11/19（火）～12/19（日）

休 館 日 月曜日（祝日の場合は翌平日休館）

開館時間 午前11時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
* 金曜日は午後7時まで開館（入館は午後6時30分まで）

会 場 泉屋博古館東京（東京・六本木）

入 館 料 一般1,200円 高大生800円 中学生以下無料
* 20名以上は団体割引料金（一般1,000円、高大生700円）
* 障がい者手帳ご呈示の方は無料

